

東三総体に向けての確認事項

1 競技上の規定の注意点

- 使用するベンチは、本館側の若番、反対側の遅番の学校が使用してください。
- 団体戦では、声をそろえての応援を認めますが、個人戦では禁止とします。
また、整列前のエール交換（円陣）は行わず、試合進行に協力してください。
- 団体戦は、各校の第1試合の対戦は、第3対戦まで行います。
2試合目以降のトーナメントは、勝負が決まりしだい打ち切ります。
- 団体戦の副審は、生徒による相互審で行います。試合前の挨拶時に順番を決めてください。
- ジャッジペーパーは、勝者サインを書かせて生徒が本部まで持ってきてください。
- 試合前の話し合いは、1試合目は1分とします。2試合目からは1本ご短縮します。
- 試合中、体調が悪い時は、タイムを取ることができます。
ただし、体調が悪いのに戦術的な理由（流れが悪い）でタイムは取れません。
タイムを取れることを知らない生徒が、無理をしてプレーすることのないようにしてください。
- 塩分タブレットや氷スプレー、日傘など、可能な限りの熱中症対策をしてください。
ただし、塩分タブレットなどは、食物アレルギーのリスクもあるので注意してください。
- 給水は、チェンジサービス時・ファイナルゲームのチェンジサイズ時も認めます。顧問・コーチは給水を足してください。
チェンジサイズ時に水筒を審判台の下に運んでいくのを忘れないようにしてください。
- 正審は、どんどんレッツプレイをかけて速やかに試合進行をしてください。
- 「ゲーム。チェンジサイズ」から計測を始め、45秒で「レッツプレイ」をかけてください。
（ファイナルゲーム前は「ゲーム。チェンジサービス」から計測する。）
「レッツプレイ」がかけたら、顧問や外部コーチはアドバイスをやめ、速やかに選手を移動させてください。
- フェンスの外側から、戦術的なアドバイスをすることはできません。また、コート横からの声援も禁止します。
- 団体戦・個人戦ともに進行表の通りに進みます。ただし、試合時間に偏りが出た場合、本部よりコート変更を指示します。
- 団体戦は、1回戦から2面展開とし、選手が日なたでの過ごす時間を短くするとともに、コートが空いている状態を作らないようにします。
- 団体戦のみ、ベンチは2面の中央に寄せることができます。
個人戦では、同じ学校が隣り合わせて試合をしている場合のみ、アドバイスを聞きこくことができます。
ただし、ベンチを2面の中央に寄せることはできません。
- 天候や試合進行により、途中中断することもあります。

2 連絡事項

- 団体では、準決勝で敗れた学校は、県大会出場決定戦を行います。帰らないように注意してください。
個人では、ベスト16で敗れたペアは、県大会出場決定戦を行います。その場合の敗者審判については教員で行います。
個人戦2日目には、ベスト16まで残ったペアが参加するので、間違えないようにしてください。
- 県大会出場を決めた学校は、最後に打ち合わせ会があるので、残ってください。
- できれば、東三大会中に県大会の支払いをしていってください。
支払いができない場合は、豊橋市立本郷中学校まで担当者が勤務しているときに持ってくるようになります。
- コート主任の先生方
翌日の試合の審判割を決めてから解職してください。審判割り当てがない方は、学校で勤務してくださって大丈夫です。
- 天候が急変したときの避難については、放送の指示に従ってください。
- 会場のスペースが限られています。団体戦については3年生のみ、個人戦については選手のための参加とします。